

新型コロナウイルス感染症
関連情報

感染者が**増加**しています



本紙は7/20時点情報。
最新情報は市HPへ

改めて感染対策の徹底を



新型コロナウイルス医療相談窓口
0798・26・2240
 FAX 0798・33・1174
 受付時間 9:00~19:00
 (土・日曜、祝・休日は17:00まで)

熱中症にも気を付けて!

エアコン使用中も換気を
(止める必要はありません)

- 窓とドアなど2カ所開ける
- 換気後は暑くなるので、エアコンの温度の再調整を

屋外 | 着用不要

(ただし、2m以内の距離で
会話がある場合、**着用推奨**)

屋内 | 着用推奨

(ただし、2m以上の距離で
会話が**ない**場合、**着用不要**)

※施設利用時は、施設管理者の指示に従ってください

体質や持病などの理由で、マスクを着用できない人もいます。ご理解・ご協力をお願いします

「陽性」と診断された人には、保健所からSMSで連絡します

連絡方法 SMS(ショートメッセージサービス)で連絡します。
多くの場合、電話連絡はありません。ご注意ください

ただし、以下の人には電話でも連絡します

- 固定電話の番号しか分からない人
- 中等症以上の人
- 70歳以上の人
- 妊娠中の人

など

SMSでの連絡内容 西宮市保健所からのSMSの発信元番号は、**[0798263666]**か**[243063]**です

- 自宅療養期間……… 発症日翌日から10日間、無症状者は検体採取日翌日から7日間です
- 緊急時の連絡先……… 医療相談窓口を案内します

電話での連絡内容 上記の連絡に加え、体調確認なども行います

療養時の注意点等はHPでもまとめています

新型コロナワクチン接種関連情報

新型コロナワクチン接種コールセンター ☎0120・622・999 受付時間 9:00~17:30(土・日曜、祝・休日も受付)



本紙は7/20時点情報。
最新情報は市HPへ

4回目接種

重症化予防のため、実施しています

対象

- **60歳以上の人**
接種券は以下の予定で発送します
- | | |
|-----------|-------|
| 3回目接種完了日 | 発送予定日 |
| 4月 1日~30日 | 8月 3日 |
- 4回目接種
- **18歳以上59歳以下で基礎疾患を有する人、その他重症化リスクが高いと医師が認める人**
接種券の発行には申請が必要です。申請方法は市HPまたはコールセンターで確認を
 - **対象の拡大について、最新情報は市HPで確認を**

接種会場

使用ワクチン
ファイザー社、武田/モデルナ社

- **個別医療機関**
市内約300カ所で実施。まず、かかりつけ医での接種の検討を
- **集団接種会場**
 - ・阪神西宮会場
 - ・市立中央病院
 - ・西宮北口アクタ会場
 - ・山口ホール
 - ・塩瀬公民館

予約方法

- 市HPまたはコールセンターから
- 市の予約システムに登録されていない医療機関は、各医療機関へ直接予約を

3回目接種

接種がまだの人はご検討ください

ワクチンの効果は時間経過で著しく低下します。3回目接種でオミクロン株に対する感染予防・発症予防・入院予防効果が回復すると国から報告されています

- 実施・予約受付中です(会場、予約方法は4回目と同じ)
- 接種券を紛失した場合は、市HPかコールセンターへ

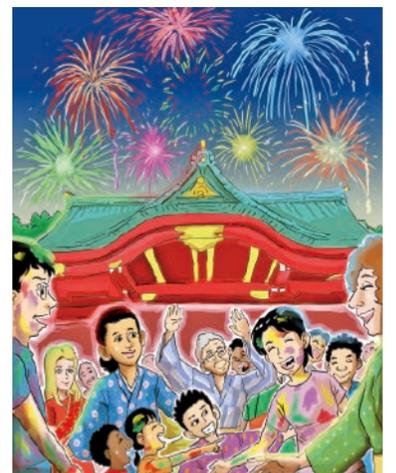
体質や持病などの理由で、ワクチンを接種できない人もいます。ご理解・ご協力をお願いします

多文化共生を考える

『人権文化の花咲くまち 西宮を目指して』
多様な視点から学ぼう!

問 秘書課 (0798・35・3459)

多様な光に満ちた花火



「公園で遊んでいたら仲間ができた」という児童が数名いた。「公園で遊んでいたら仲間がなくなった」「サッカーをしていたら友達になった」。日本人と交流できている者に共通することは、遊びやスポーツなど、非言語のコミュニケーションを通して友人を作っていたことだ。「お互いの国のお祭りを一緒にやれば距離が縮まらず」と提案した児童もいた。

お祭りは世界中にあり、いろいろな意味や役割がある。その役割の1つは「地域の人々を一堂に集め、交流を促すこと」で、日常生活で感じる、不安や気まずさを取り去ってくれる力がある。多種多様な人が集い、作り上げるお祭りの夜空は、希望という花火によって彩られるかもしれない。

東京で暮らす、あるネパールの家族の物語。一家の父は留学生として日本の大学で学んだあと、在日の外資企業に就職した。妻とまだ幼児であった娘を呼び寄せ一家3人の日本生活が始まった。

物心がついた時、娘は日本の幼稚園にいた。「どうして周りの人と違うの?」「ネパール人ってどういう事?」。子供は親を選べないとはよく言われるが、生まれる国も選べない。自身の決断で異国へ移住する親とは違い、子供は気がついたらその場所にいる。同世代の日本の子供達に疑問を投げかけられるが、その問いへの答えを今でも彼女は探している。

時がたち、娘は東京のネパール系住民を中心としたインターナショナルスクールに通っていた。この学校では、約7歳~18歳の児童が通っており、彼らはみんな両親の仕事の事情で来日し、日本語をうまく話せる者からほとんど日本語を知らぬ者まで多様だ。彼らの生活のほとんどはネパール人同士で成立するため、日本人の知人や友人をもつ者は少ない。まさに東京のど真ん中に存在する小さなネパールだ。

漫画家・タレント
星野 ルネ さん



1984年カメルーン生まれ。4歳の時に母の結婚に伴い来日し、姫路市で育つ。2018年8月に『まんが アフリカ少年が日本で育った結果』(毎日新聞出版)として出版。毎日小学生新聞にて「アフリカ少年! 毎日が冒険」連載中